

# 富山新聞

富山新聞社

〒930-8520富山市大手町5番1号

番号案内(076)491-8111

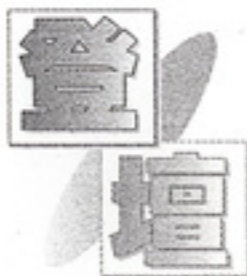
金沢本社 番号案内(076)263-2111

〒920-8588金沢市香林坊2丁目5番1号

©北國新聞社 2002年

富山のITの現状を「インフラは整ったが、ITソフト等を用いたビジネス基盤は脆弱」と分析する。

成長の手段としてIT先進国、韓国に狙いを定め、十月に県、県総合情報センターと共に韓国ITベンチャーセンター(東京)の入居企業を富山に招いた県内初のビジネス交流会には、両国の産学約百二十人が参加する成功を収めた。四月には自身の経営するソフト開発会社シーデーエルでもソウルのハードソフト会社との業務提携にこぎつけてお



したが、そのバイタリティーは人並み外れている。得意先も技術も人も資金もない中、無借金と自身の無給を条件に出資を依頼。とにかく自分の得意な「色」を生かそうと、刷毛とローラーをマウスに変えて環境デザインの仕事から手掛けた。インターネットの使用からIT事業を拡大し、七年目の今年三月期に初の配当を出した。

### 産学で地域貢献

協議会に所属する企業人、新ビジネスの構築、大学は新ビジネスの構築、大学の魅力については、世界最高水準のプロードバンド普及率に加え、個々の

□ とやまITベンチャー協議会長

□ 松原 吉隆氏



## 売薬精神で とやまを発信

り、精力的に業界を引っ張る。

### まちづくり支援

元々は父親の創始した塗料化学品加工販売業、大同産業の二代目として大学卒業後、化学や色彩に携わる道歩んできた。少子高齢化の時代に「新しい仕事を作らないと地方は育たない。多様な職種の若者を雇い、まちづくりを支援する会社を作れないか」と異分野のシーデーエルを創立

の研究者は技術の産業化による地域貢献が最大の成果となる。「産学の実績を出すことこそ地域での存在価値」ときっぱり言い切る。

販路拡大のための商談会や特許ビジネス、グローバル化等の課題解決に向けた勉強の場など実践活動を充実させ、現在六十人の会員数を百人台に増やす目標を掲げる。

「ITはひとつの手段。情報発信元が現実の商品や地域の魅力を磨いた上で初

技術者のレベルの高さ、高い起業家精神を指摘する。シーデーエルでは韓国出身の女性技術者の採用も始め、技術、人材交流をさらに促進する意向だ。

「売薬精神はベンチャー精神」の言葉をよく使う。

「売薬が全国の顧客に多様な情報を付加した医薬品を提供したように、本物のとやまブランドを磨き、全世界に価値ある情報を発信したい」と意気込む。(か)

# 先進地韓国と技術交流展開